

これまでも、これからも、

つくりたいのは、

だれひとり取り残されない

やさしいまち



と にかく子どもを守る

子どもは三次の未来です。安心して楽しく子どもを産み育てられるまちを目指します。一人一人が大切にされ、違いを個性として認めあえる子育てができるように。



く らしを、大切に

すべての人の「困った!」「不安だ…」に必要な支援が迅速に行き届くよう働きかけます。生きがいをもって、元気に笑い、安心して暮らせる地域を。



お かしいことは、おかしいと言う

市民の目線ですっきりと市政や議会の運営をチェック。調査・提案していきます。



か 環境問題にとりくみ

世界規模の環境問題を解決するためには、私たちの暮らしの中から変えていく必要があります。私たちの住む地域の空気や水、そして耕作放棄地や獣害のことなど、暮らしの環境にまつわることを一緒に考えていきます。



ま ちづくりを考え

市民・議会・行政が一緒に未来の三次市のビジョンを描き100年後も安心して暮らせる三次市を作るために、一体となって取り組む仕組みを作ります。



のうより今日をよくする、
そんなまちを
わたしはつくりたい!



とくおか真紀が 取り組んできた 5つのこと

1 何よりも子どものいのちと 安心を守る

子どもたちの声を議会に届けるため、通学カバンの重さや校則について子どもや保護者にアンケートを取り、一般質問等で現状の改善を提案しました。また、誰一人取り残さないための不登校対策の拡充や妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を求めています。子どもが三次の大自然の中で遊びのびと遊び、学べる環境と、楽しく子育てができる仕組みをつくるため、学校図書館の充実と活用促進、わくわく体験活動等についても一般質問を行ないました。



2 持続可能な農林業と 里山の美しい自然を守る

人と環境に配慮した農業を広げるため、学校給食の地産地消と有機農産物の活用を働きかけています。また、広島県固有の種を守るため、有機農家さんと共に広島県農業ジーンバンク存続の請願書を広島県議会に提出しました。



一般質問では、「脱炭素の取り組みの推進」「太陽光パネル設置に関する条例制定」「持続可能な自伐型林業の推進」についても取り上げています。

3 暮らしの安心を守る

コロナ禍での新たな支え合いを考え、「コロナ禍における三次の支援策と今後の対策」を一般質問しました。また、防災士資格を取得し、高齢化が進む中での防災の仕組みづくりを進めると共に、女性の視点を取り入れた災害への備えを考え、地域の集会や防災教室などで啓発活動を行っています。



4 声を聴き、つなぎ、 かたちにする

毎月1回、どなたでも参加いただける「とくおカフェ」を開催し、議会報告やテーマを決めた勉強会、一人ひとりの声をお聴きする場を設けています。いただいた声から、人と動物が共生できるよう、市民団体と協力して、地域猫活動を広める活動も行なっています。



5 多様な意見が反映される 議会へ

三次市の女性議員は24名中わずか3名(2024年現在)。子育て中の議員も少なく、まだまだ多様な声が市政に届いているとは言えません。私のようなお母ちゃん議員を増やすため、広島県内の女性議員の情報交換や勉強会の場として、「ひろしま議員女子会」というネットワークを立ち上げ、代表を務めています。

